

外来カミキリ早期発見に協力を 石ヶ谷公園で樹木医ら啓発活動

木を食い荒らす「クビアカ」

こんなもの
見つけたら
通報してね



㊦クビアカツヤカミキリへの注意を呼びかけた啓発活動
＝石ヶ谷公園

㊦クビアカツヤカミキリのフラス。木の表面で見られる
こともある(兵庫県提供)

サクラやモモの木を内部から食い荒らす特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」に注意してもらおうと、樹木医らが、明石市大久保町松陰の石ヶ谷公園で啓発活動を行った。チラシを配るなどして市民らに早期発見への協力を呼びかけた。

クビアカは木の中で約2年間生息し、成虫は6～8月に活動する。県内では、2022年6月に同公園で初めて見つかった。現在、被害は同市のほか神戸、西宮、

三田、芦屋市に広がっている。

活動には日本樹木医会兵庫県支部のメンバーを中心に、県、明石市の職員らも参加。木くずと幼虫のふんが交じった「フラス」や、成虫の標本をテントなどで展示した。樹木医の崇貴久義さん(75)は「今の時期は、木から脱出する前なので対処しやすい。フラスを見つけたら県や市に通報を」と呼びかけている。

県自然鳥獣共生課 ☎078・362・3389

(森 信弘)